

校訓	真 善 美	令和8年度 学校だより 「荒中だより」 6月 水無月 第6号	発行日	令和8年6月2日
教育目標	自ら考え、協働し、 未来を拓く生徒の育成 —認め合う心、確かな学力、健やかな心身を育てる—		発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 二宮 啓二

荒牧中学校の周りには、たくさんの木々や花々が息づいています。この時期は特に色とりどりのバラが満開となります。荒牧中に隣接するミニバラ公園は、地域の方々がいつも花の世話や清掃などを行い、美しい環境の維持管理に努められています。美しい花を育て絵にいただいている方々に感謝いたします。

<修学旅行に行ってきました！>

5月26日～28日、雨が予報されており、曇り空でしたが、夏を予感させる暑さを感じる中、3年生は長崎への修学旅行に行き、見識を深めてきました。1日目は長崎平和公園に赴き、平和祈念像を前にセレモニーを行い、



平和を願って千羽鶴を奉納しました。その後、「長崎さるく」の方々に案内いただき、永井隆記念館・如己堂や平和公園周辺の戦争遺跡を巡りました。さるくの方々の丁寧で深い説明を、熱心に聴く3年生の姿勢が印象的でした。また、原爆資料館を班で見学し、戦争・平和について深く考えることができました。夜はホテル屋上からの素晴らしい夜景をバックに記念撮影。思い出の一コマとなりました。

2日目、街全体が深い霧に包まれた朝、長崎独特の幻想的な風情を感じました。てるてる坊主の効果か、夜半の大雨も弱まり、予定通り班別活動に繰り出しました。グラバー園やオランダ坂の石畳が雨に濡れ、霧雨のしっとりとした雰囲気は異国情緒を引き立たせてくれました。出島や眼鏡橋、新地中華街などの名所を巡り、みんなでトルコライスなどのお昼ご飯も食べ、長崎の街を満喫しました。



どの班も協力して行動でき、たくさんの笑顔を見ることができました。帰りのホテルまでの階段は、最後の試練でした。夜は、レクで大いに盛り上がりました。

ダンスやコント、先生方も参加してのゲームなど、趣向を凝らした出し物で楽しみました。まさかのドッキリも飛び出し、びっくりしました。

最終日は牧島で、ペーロン大会を行いました。ペーロン愛好会のみなさんから説明を聞き、各クラス対抗で3回戦を行いました。観戦しているみんなが大きな声援を送り、クラス一丸となって取り組む姿がとても印象に残りました。

3日間を通して、様々なことがありましたが、その経験の全てが3年生のこれからの成長に大きくつながるものであったと思います。また、毎日の学校生活に裏付けられた3年生の集団の力を見ることができました。荒牧中学校を背負う皆さんのこれからの成長を期待しています。

<トライやる・ウィーク がんばりました！>



2年生は、5月25日～29日（一部生徒は31日まで）の期間にトライやる・ウィークとして、地域の事業所に赴き、1週間の職業体験を行いました。これまで、事前訪問や打合せなどたくさんの準備をしてきました。本番はどうだったでしょうか？働くことの難しさややりがい、地域・事業所の方々の温かさなど、多くのことを感じたことと思います。多くの人に支えられてこの行事が実施できていることに感謝し、まとめをしてほしいと思います。先生も、いくつかの事業所を回りました。そこには、明るい表情で挨拶をする荒中生の姿がありました。事業所でのユニフォーム姿も普段学校で見る姿とはまた違って、とても凛々しく、さわやかでした。事業所の方にお話をうかがうと、「積極的に動いてくれて、よく気がつきます」「とても真面目に取り組んでくれています」といったお褒めの言葉をいただきました。中には失敗して事業所の方々にご指導いただいたこともあると思います。その全てが自分の成長の糧となります。地域に支えられたこの1週間の貴重な体験をこれからの学校生活やみなさんの将来に繋げていってほしいと願っています。

